

香芝市立鎌田小学校 令和五年七月十一日



学校だより



鎌田マスコットキャラクター
くずのつき m.m

第九号 校長 杉村 幸恵

七月の全校朝会で…

七月三日(月)、全校朝礼の実施に合わせて三年生、四年生、五年生の児童による歌の発表がありました。

コロナ禍で、なかなか元に戻すことができなかった活動の一つが、音楽の表現活動です。丸三年もの間、大きな声を出して歌うことを控えざるを得なかった事実は、子供たちの



意識や経験にも大きく関係することとなりました。

自分だけでなく聞こえるような声で歌うことから始め、隣の友達の声を聞きながら自分の声を重ねてみることを目標にして学習を進めてきました。加えて、みんなで一緒に歌うことが楽しいと感じるような選曲をするなど工夫しながら、少しずつ声を出して歌うことに対する緊張感や抵抗感、恥ずかしさを除くことを意識して表現する学習を積み重ねてくれたようです。

で発表することに挑戦してくれました。



これまでも、音楽室に〇年生を招待して歌声を聞かせたり、録画したものを他の学年が鑑賞したりしてきましたが、今回は生の歌声による、しかも体育館という広い場所



三つの学年の子供たちは緊張したと思いますが、とても優しく美しい声を聞かせてくれました。月曜日の朝から、穏やかな時間が流れたように感じました。

「コミュニティ・スクール

合言葉は「子供のために」「みんなで」「連携して」

去る七月五日(水)、第一回目の鎌田小学校コミュニティ部会が開催されま

した。これは、子供たちの育ちを支える三つの分野「知」・「徳」・「体」+「栽培」の活動にボランティアとして関わっていただいている方々に集まっていたいただき、それぞれの部会から子供たちの様子や活動の内容を報告していただいたり、今後の活動について学校と話し合っていたりする機会でした。

コミュニティ・スクールとして、保護者・地域・学校がつながり(連携)ながら子供を育む体制を作り(協働)、これからの時代を生き抜く鎌田小の子供たちのために必要なことを考える(熟議)大切な話し合の場です。

ボランティアの方の中には、保護者でなく、いち地域住民としての立場から参加してくださっている方もおられます。子供たちが、保護者や御家族、学校の教職員だけでなく、たくさんの方の大人の方に関わり、見守っていただけるのは本当に幸せなことだと感じています。

先日から、本年度ボランティアとして参加していただける方を募らせていただいたところ、経験者の方のみならず、新規の方からも参加の意思を示していただきました。ありがとうございました。活動の際は、各代表の方から連絡が入ることと思います。どうぞよろしくお願ひします。また、「参加できる日が限られているんだけど…」。「一度、どんなことをされているか見学してから…」とおっしゃる方々も、ぜひ学校まで御一報ください。『できることをできる人ができる時に』と、たくさんの方々に御参加をいただいています。

